

愛知県扶桑町、あいち銀行、バイウィルが カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定を締結

J-クレジットの創出・流通に取り組むことで、
環境価値と経済価値の循環を起こし、扶桑町の地域脱炭素と地域経済の活性化に貢献

日本全国 47 都道府県のカーボンニュートラル実現を目指す株式会社バイウィル(本社:東京都中央区、代表取締役社長:下村 雄一郎、以下「バイウィル」)は、愛知県丹羽郡扶桑町(町長:鯖瀬 武、以下「扶桑町」)、株式会社あいち銀行(本店:愛知県名古屋市、代表取締役頭取:鈴木 武裕、以下「あいち銀行」)と「カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定」を締結しました。

3 者は本協定をもとに、J-クレジット(*1)をはじめとする環境価値の創出・流通や、新たなビジネスモデルの創出に取り組めます。



(写真左から)あいち銀行 取締役執行役員 川畑徹志氏、扶桑町 副町長 北折廣幸氏、
バイウィル 執行役員 サステナビリティ事業本部長 齋藤雅英氏、

*1:J-クレジットとは、省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られた CO2 等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。発行されたクレジットは他の企業等に売却することができ、購入者はカーボン・オフセットに活用することができる。

【締結日】

2025 年 8 月 27 日（水）

締結日当日には、扶桑町役場にて締結式を執り行いました。

【協定内容】

3 者は、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与することを目的として、以下の事項について協力します。

- (1)環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- (2)環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- (3)その他、本協定の目的に資すると双方が認める事項

【締結の背景】

扶桑町は、脱炭素社会の実現を目指すため、2030 年度までの扶桑町の事務事業にかかる温暖化対策について定めた「扶桑町地球温暖化対策実行計画【事務事業編】」を 2024 年 3 月に策定しました。今後、省エネ対策として照明器具のLED化の実施や、公共施設等への太陽光発電設備の導入、公用車の電動車等の導入など具体的な施策が検討されています。

また、バイウィルはあいち銀行と 2023 年 8 月 9 日に顧客紹介契約を締結し、地域の脱炭素推進を目的とした連携を深めてきました。今回もあいち銀行から扶桑町へバイウィルが紹介されたことで、扶桑町においては新たな取り組みとなる J-クレジット創出・活用を進めるため、本連携協定に至りました。

*参考)

・扶桑町:扶桑町地球温暖化対策実行計画

(<https://www.town.fuso.lg.jp/chousei/1002202/1004329/index.html>)

【今後の展望】

扶桑町の脱炭素化を目指し、3 者が連携して J-クレジットの創出および流通を進めてまいります。J-クレジットの創出方法(方法論)については、太陽光発電設備の導入および LED 照明設備の導入から検討しており、その後、その他の方法論についても検討する予定です。

バイウィルは、扶桑町における J-クレジット創出プロジェクトの登録・申請からモニタリング、創出したクレジットの販売までをシームレスに支援します。また、販売に関しては、あいち銀行と協力し、「地産地消」によって扶桑町をはじめとする地域の脱炭素化を促進します。

【3 者概要】

<扶桑町 概要>

- 代表者:町長 鯖瀬 武
- 所在地:愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字天道 330
- 公式 HP:<https://www.town.fuso.lg.jp/>

<あいち銀行 概要>

- 名称:株式会社あいち銀行
- 代表者:代表取締役頭取 鈴木 武裕
- 本店:愛知県名古屋市中区栄 3-14-12
- 事業内容:銀行業
- 公式 HP:<https://www.aichibank.co.jp/>

<バイウィル 概要>

- 名称:株式会社バイウィル
- 代表者:代表取締役社長 下村 雄一郎
- 所在地:東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6 階
- 事業内容:
 - ・環境価値創出支援事業(クレジット創出)
 - ・環境価値売買事業(クレジット調達・仲介)
 - ・脱炭素コンサルティング事業
 - ・ブランドコンサルティング事業
- 公式 HP:<https://www.bywill.co.jp/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社バイウィル 広報担当
e-mail:info@bywill.co.jp
TEL:03-6262-3584(代表)